

# 令和3年度 自己評価・学校関係者評価 報告書③

岐阜県立池田高等学校

学校番号	20
------	----

## I 自己評価

1 学校教育目標	校訓「向学・友愛・錬磨」の下、明るく規律ある学校生活を通して、「知・徳・体」の調和のとれた人間性豊かな、心身ともに健全な人間 形成を期すとともに、持続可能な社会の発展に貢献できる人間の育成に努める。	
2 評価する領域・分野	◇進路指導	
3 現状・生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	<ul style="list-style-type: none"> <li>大学入試改革とコロナ禍により先行きが見えず、昨年と同様に地元志向が高まった非常に厳しい状況の中、国公立大学への複数合格に留まらず、難関私大や公立看護専門学校への合格、難関企業への複数名の内定等、生徒たちは進学・就職共に素晴らしい成果を上げた。</li> <li>生徒のアンケート結果では、「本校では、生徒の将来の希望に沿った具体的な生徒指導が行われている。」が84.8%の支持を、保護者のアンケート結果では、「学校は、進路説明会等、保護者が必要とする進路情報を提供する場を設けている」が84.7%と進路実現に向けての「本校指導方針」に対して両者とも高い満足度を得た。また保護者アンケートの「平常補習や夏季補習、教育支援ツールによる小テストや提出課題、スタディサプリーなどを利用して、確かな学力をつけさせようとしている。」が92.8%と多くの保護者が、本校の進路実現のための学習支援に満足していることが分かった。</li> </ul>	
4 今年度の具体的かつ明確な重点目標	学年ごとに積み上げる確かなキャリア教育を通して、学習意欲の喚起と学力の向上に努め、生徒の多様な進路希望を支援します。	
5 重点目標を達成するための校内における組織体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>進路指導委員会</li> <li>教育課程委員会</li> </ul>	
6 重点目標の達成に必要な具体的取組、方策	<p>①平常補習や夏季補習、スタディサプリーを利用して、確かな学力をつけさせる。</p> <p>②校外模試の結果について分析を行い、一人ひとりに合った進路指導・教科指導を行い、進路実現に導く。</p> <p>③就職希望者の進路実現に向けて地域創生キャリアプランナーと連携しながら、きめ細かくサポートする。</p> <p>④小・中・高連携したキャリアパスポートを利用して、在学中の成長を記録し自己肯定感を高めさせるとで、進路選択に役立てる。</p>	
8 取組状況・実践内容等	9 達成度の判断、判定基準 あるいは評価指標	10 評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>ガイダンスの実施や、専門外部講師による進路講演会のWEB配信の実施</li> <li>補習方法の工夫、学習支援ツールの活用</li> <li>生徒個々の進路設計に向けた、学年毎の系統立った体験型進路ガイダンスの実施</li> <li>進学、看護、就職希望者それぞれに対応した各種外部模試の実施</li> <li>推薦入試に向けた全学年対象の小論文指導と小論文模試の実施</li> <li>総合型選抜や学校推薦型選抜に向けた全職員体制の指導の充実</li> <li>1, 2年生全員(3年生は希望者)の「スタディサプリー」で学年体制での学習指導</li> <li>地域創生キャリアプランナーによる専門的な就職支援や就職希望者の手厚い指導の実施</li> </ul>	<p>①スタディサプリーの活用率100%。</p> <p>②補習への参加人数と出席状況、アンケート調査の満足度の向上。</p> <p>③「到達度テスト」における各分野の理解度の向上。</p> <p>④キャリアパスポートを利用した「一年間の振り返り」での肯定的な自己評価。</p>	<p>A B C D</p> <p>A B C D</p> <p>A B C D</p> <p>A B C D</p>

11 成 果 ・ 課 題	<p>○コロナ禍の中、ガイダンス等の進路行事の開催方法を工夫することで滞りなく実施することができた。3年生大学別ガイダンスは時期を1ヶ月ずらすことにより実施することができた。また三者懇談中のガイダンスの対象学年を分け、教室を増やし、3密を防ぐことで実施することができた。</p> <p>○昨年と同様、コロナ禍のため、保護者がガイダンス等に参加できない不安を軽減させるため、YOUTUBEにおいてwebガイダンスを実施した。3年生向け進路講話や保護者向け進路講演会は、専門の外部講師を招き充実させた。配信期間を2週間取ることにより、動画視聴率を上げることができた。</p> <p>○外部模試は就職から国公立大学志望者に対応できるよう、就職・公務員試験を始め、ベネッセ、河合塾、看護模試等、様々な模試を予定通り実施した。模試結果を基にWEB版コンパスを活用することで精度の高い指導・助言が可能となった。</p> <p>○1・2年生全員が学習支援システム「スタディサプリ」を活用しており、コロナ休業期間中には授業の補助として大いに役立った。また教科担任のきめ細かい声かけのおかげで、生徒の利用状況を示すアクティブ率が平均8割を超え、昨年度より飛躍的に伸びた。生徒個々の取り組み状況の把握に加えて、「学習到達度テスト結果」をおよび「連動課題」を活用することで学年全体の苦手分野の把握と対策が可能となった。</p> <p>○新型コロナウイルス感染予防のため、夏休み明け1ヶ月学校が休校になったことにより様々な心配があったが、就職希望者にきめ細かな個別指導を継続したことで、大垣消防、自衛官、JA、日本郵政、イビデン（2名）等、大手企業への内定者を出すことができた。</p> <p>▲今年度夏休み明け休校の影響もあり、3年生の入試準備の遅れが目立った。来年度以降はどういう状況か予想できないが、看護・医療系希望者が多い本校において、その夢の実現を達成できるよう手厚い援助を早期に続けていく必要がある。</p> <p>▲就職求人数は昨年度並みであったが、職種により人気を集中して、厳しい就職活動であった。コロナ禍が終わり、求人状況も変わる可能性があるため、早期から意識付けをして就職試験に対応できるように対策を立てていく必要がある。</p>	<p>総合評価</p> <p>A <input checked="" type="checkbox"/> B C D</p>
-----------------------------	---	--

<p>12 来年度に向けての改善方策案</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリアパスポートの運用を充実させる。高校のキャリアパスポートはMetamojiでデジタル化することができた。来年度は進路選択に向けた活用法について創意工夫をしていく。</li> <li>・3年次の就職希望者・進学希望者の早期指導をしていく。就職希望者・進学希望者の受験準備の予定を前倒しすることで、余裕をもって受験準備をさせたい。</li> <li>・キャリア教育を充実させ、1・2年からのキャリア指導・志望理由書指導を徹底する。3年次になって困らないためにも、1・2年での指導を充実させたい。</li> <li>・令和4年入学生からの単位制準備をする。来年度の1年生は6月にコース選択の仮登録が行われる。1年前期の進路ガイダンスを充実させ、いち早く進路意識をもたせる。また2年次ではいよいよコースが分かれるため、各コースの特色を出す進路行事を運用する。</li> </ul>
---

## II 学校関係者評価

実施年月日：令和4年1月25日

### 【意見・要望・評価等】

- コロナ禍でもガイダンス等の進路指導を工夫しつつやり遂げたことを評価する。こうした行事だけでなく、日頃から、生徒自らが自分の関心や適性や将来の夢などを発見し、行動を起こさせるような環境をつくとさらに効果が上がる。
- 進路にかかる情報発信が、保護者・生徒共に高い理解を示しているところがよい。地域の安定した高等学校としての安心感から、池田高校を志望する中学生や保護者は少なくない。今後も、幅広いニーズに対応する進路指導を進めてほしい。そのためにも、「入学当時の目標を忘れることなく持ち続け、努力することで夢は実現できる」と確信させる、体系的な進路指導をお願いしたい。特に、岐阜県の医療、看護分野を支える人材育成の拠点となるように、更なるサポート体制の充実を望む。